

2009年3月13日
東日本旅客鉄道株式会社

2008年度「踏切事故^{ゼロ}運動」の展開について

今回の踏切事故^{ゼロ}運動は以下の内容を中心に展開いたします。

トラック協会のご協力を得て、事故発生率の高いトラックなどの貨物用自動車のドライバーに対して無理な踏切横断をしないように呼びかけます。
交通安全協会、警視庁、各県警察等のご協力を得て、運転免許保有者数に対して踏切事故が多くなる傾向がみられる高齢者ドライバーに、踏切事故防止を呼びかけます。

「踏切事故^{ゼロ}運動」は1991年から継続して実施しています。

1 実施期間・エリア

「2009年3月16日（月）から2009年3月31日（火）まで」の期間実施します。
JR東日本管内全エリアで実施します。

2 今回の考え方

今年度の当社管内における自動車による踏切事故の半数近くが無理な踏切への進入によるものです。特に列車が通過する直前の踏切横断による事故は大きな危険性があります。

これまでの踏切事故を分析すると、トラックなどの貨物用自動車が占める事故の割合が高いことから、事業主を含めてトラックドライバーに対して注意喚起並びに事故防止に向けた取組みを行います。また、運転免許保有数に対して事故割合が高い傾向がみられる、高齢者ドライバーに対しても踏切事故防止を訴えていきます。

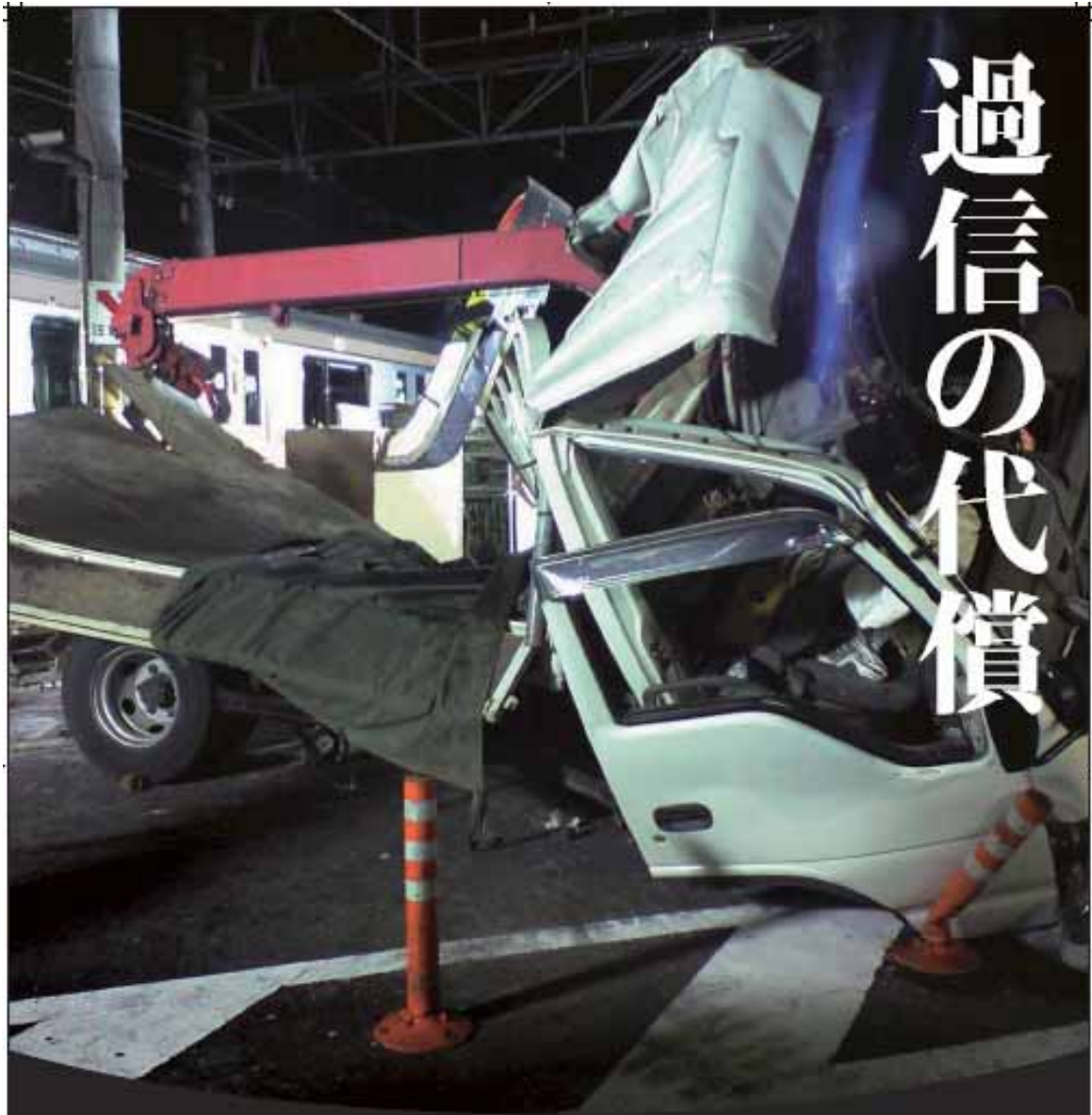
3 具体的な展開方法

トラック協会のご協力を得て、トラック事業者にポスターを掲示して頂くなど、事業主を含めてトラックドライバーに注意喚起を行っていきます。

ドライブインなどトラックドライバーが集う場所を中心に、ポスターを掲出して頂き踏切事故防止への協力を呼びかけます。

免許更新者講習（高齢運転者講習）においてチラシを配布し、踏切事故防止の注意喚起と踏切での安全確認を呼びかけます。

ポスター



過信の代償

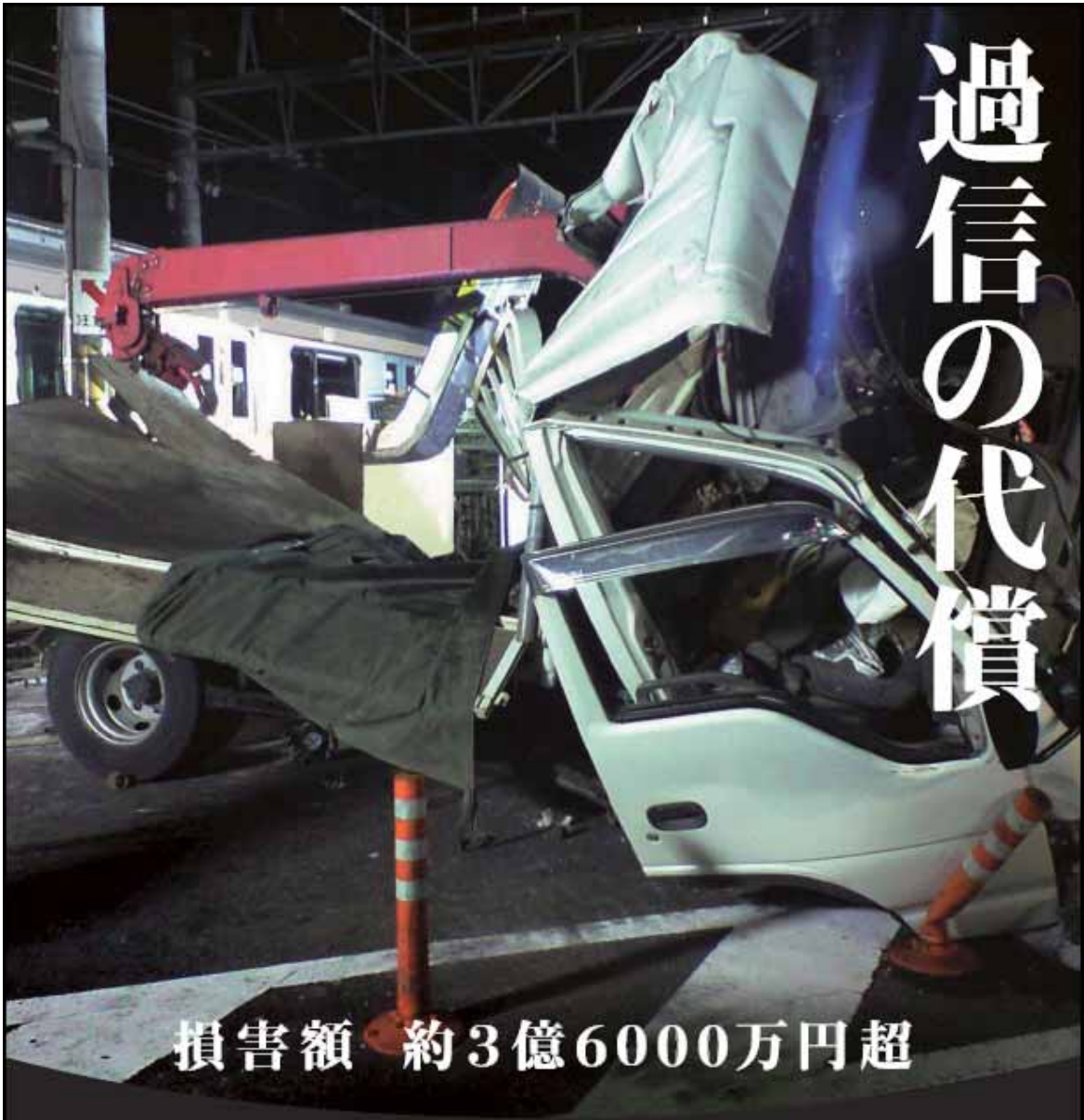
踏切前では、必ず一旦停止を。

踏切事故^{ゼロ}運動

JR東日本
関東運輸局
警視庁

JR
JR東日本

チラシ(表面)



過信の代償

損害額 約3億6000万円超

踏切前では、必ず一旦停止を。

踏切事故^{ゼロ}運動



チラシ(裏面)トラックドライバー向け



無謀横断、
この先は……



踏切前では、必ず一旦停止を。

踏切事故^{ゼロ}運動

高齢ドライバーの方へ

踏切では

① 止まる

踏切の手前で、必ず一旦停止してください。



② 聞く

窓を開けて、警報機が鳴っていないか確認してください。



③ 見る

遮断機、前方のスペース、左右の安全を確認してください。

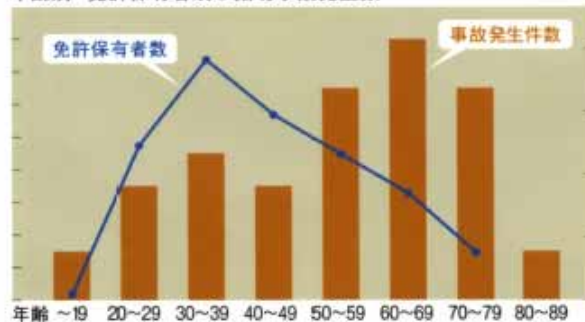


④ 進む

踏切の途中で止まらずに、一気に渡りきってください。



年齢別 免許保有者及び踏切事故発生数



年齢が増すにつれて、免許保有者数は減少しますが、踏切事故の発生は増加しています。

遮断機の動きの見逃しや、警報機の聞き逃しなどの判断ミスにより、踏切事故にいたるケースが増えています。踏切事故防止に、ご協力をお願いいたします。